

令和2年度

秋田大学教員免許状更新講習一覧表

★一覧表は、令和2年4月1日時点で作成したものです。
最新の情報は、本学教員免許状更新講習HP (<https://menkyo.jimu.akita-u.ac.jp/>)にて
ご確認ください。

【選択領域講習】 講習番号101～230(1～16ページ)

【選択必修領域講習】講習番号701～714, 751～762(17～20ページ)

【必修領域講習】 講習番号901～913(21ページ)

必須領域とまとめて行う選択必修講習一覧(22ページ)

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
101	【選択】地域生活とスポーツ	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進や住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備は、今日のスポーツ政策における重要な課題となっている。本講習では、現代社会において営まれる人びとの地域生活を基点として、これらの政策課題に関連した取り組みの実態とその問題性についての理解を深める。	伊藤 恵造(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月6日(土)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(保健体育)、高校教諭(保健体育)	30人
102	【選択】小学校理科における効果的な観察・実験	小学校理科教科書に記載されている観察・実験について検討を行い、どのような点に留意すると児童はよりよく学習目標を達成できるのか、さらにどんな工夫ができるのかについて、実際に観察・実験を行いながら学ぶ。また、その観察・実験のバックグラウンドとなる理論についての理解を深める。	田口 瑞穂(教育文化学部講師)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月6日(土)	教諭	小学校教諭	20人
103	【選択】美術教育における題材体験(平面)	美術教育における平面の様々な表現を体験して、児童・生徒の関心・意欲・態度を高め、表現する力を伸ばす指導力を身に付ける。併せて題材などを開発する力を身につける。	長瀬 達也(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月6日(土)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(美術)、高校教諭(美術)	12人
104	【選択】食品科学の最前線(食の安全確保、健康維持機能の活用、世界の食糧需給構造について)	【全体の概要】食品科学に関する基礎知識及び最近の食をめぐる様々な問題について解説する。【食の安全と安心】放射能汚染問題や学校給食におけるアレルギー等の食の安全に係わる問題について解説する。【食とメタボリック症候群】急増するメタボリック症候群の実態を紹介し、食の健康維持機能について解説する。【食の近未来】世界の食糧需給構造や、わが国の近未来における食の安全保障について解説する。	秋山 美展(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授)	秋田県秋田市	18時間	令和2年6月6日(土)～6月7日(日)、6月13日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(理科、家庭)、高校教諭(理科、家庭、農業、工業、水産)、養護教諭、栄養教諭	20人
105	【選択】特別支援教育－知的障害児の理解と教育の実践－	障害児の理解に向けて、知的障害児を中心に文化史や教育史といった歴史的背景や発達のとらえ方から考えていく。また、知的障害児教育には、指導法としての領域・教科を合わせた指導など、指導内容及び指導方法に関する独自性が存在する。そこで、知的障害児の学習上の特性に応じた対応の基本を中心に、教育課程の在り方も含めて教育現場の指導実践例も紹介しながら学んでいく。	谷村 佳則(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月7日(日)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50人
106	【選択】火山と地震の実験教室	小学校6年生理科、中学校1年生理科の大地をテーマにした分野、高校地学基礎の地震や火山の分野は、児童生徒に実感させ理解させることがたいへん難しい分野です。この困難を解決すべく開発されたわかりやすい実験教材を紹介します。また、会場の由利本荘市は、地震や噴火による大地の変化を見学するには最適の場所です。みなさん自身に考えていただきながら楽しくご案内いたします。本講習を受講して授業ですぐ使える知識・技能を持ち帰りましょう。なお、この講習は、郷土教育や防災教育にも役に立ちます。小中学校の理科以外の先生もふるってご参加ください。	林 信太郎(大学院教育学研究科教授)	秋田県由利本荘市	6時間	令和2年6月13日(土)	教諭 養護教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭、養護教諭	20人
107	【選択】特別支援教育－発達障害児の理解と支援－	障害児の教育は「特殊教育」から「特別支援教育」へと大きく転換し、障がいのある幼児児童生徒の教育は、特別な指導の場だけでなく、通常の学級においても必須になっている。したがって学校の教員は、「特別支援教育」に関する一層の実践力及び専門性が求められている。その一助となることを期待し、本講習では、学校における「気になる子」を取り上げ、発達障害等の特性を説明しながら具体的な支援方略について学ぶ。	鈴木 徹(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月14日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50人
108	【選択】幼児音楽指導法	①こどもの歌・童謡を歌う。 ②楽譜の基礎知識・ソルフェージュを学ぶ。 ③実践しながらコードを使った伴奏法を学ぶ。 ④幼児が親しみやすい楽器の種類と奏法を知り、演奏できるようになる。	佐藤 真由子(聖霊女子短期大学生活文化科生活こども専攻講師)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月20日(土)	教諭	幼稚園教諭	20人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
109	【選択】思春期の交友関係と学校～友だち関係・恋愛からいじめまで～	この講習では、具体的なデータをもとにして、①「思春期の子どもたちにとって、友だちはどのような存在なのか？」②「思春期の子どもたちにとって、恋愛はどのような意味を持つのか？」③「彼らがいじめを止められないのはなぜか？」という3つの疑問を解き明かすことによって、彼らが学校でどんな日常生活を営んでいるのかを考察します。その現状を踏まえたうえで、実践的な解決策を模索していきます。	鈴木 翔(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月20日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	20人
110	【選択】秋田県の地震・津波災害と防災・減災教育	2011年に発生した東日本大震災以降、地域に則した防災教育の必要性が高まっている。また、秋田県では過去に多くの地震や津波災害が発生している。本講習では、秋田県の地震、津波の発生メカニズム、特性といった基礎的なことを説明した後、これら災害の歴史と特徴について説明する。そして、防災・減災へ向けて、これらの災害への対策や課題、防災教育のあり方について説明する。	水田 敏彦(地方創生センター教授) 鎌滝 孝信(地方創生センター准教授)	秋田県大仙市	6時間	令和2年6月20日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50人
111	【選択】佐竹氏と東国の大名たち-近世大名の成立過程-	佐竹氏は21世義宣の時代に常陸より出羽国秋田に移封し、義宣が初代藩主となって秋田藩を形成する。天正18年(1590)、小田原の北条氏が豊臣秀吉に屈服すると、義宣は北条氏の旧領に移された徳川家康と対峙したが、それまでは南の北条氏と北の伊達氏に挟まれ、厳しい軍事的緊張下に置かれていた。講習では、佐竹氏が上杉氏や武田氏、蘆名氏や岩城氏等と合従連衡を繰り返しながら近世大名へと転換した歴史過程について考察する。	渡辺 英夫(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月20日(土)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(社会)、高校教諭(地歴)	10人
112	【選択】言語表現の可能性を探る	この講習では言語表現の可能性について考えます。そのために、まずは言葉の仕組みや働きを言語学的な視点から分析します。その分析をもとに、言葉の持つ力、その逆の弱さ、盲点などを事例を交えて検討します。それらを総合的に踏まえ、言葉が学校教育ならびに日常の言語生活において果たしている役割を追究します。	大橋 純一(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月27日(土)	教諭	中学校教諭(国語)、高校教諭(国語)	20人
113	【選択】子どもの心の問題と心理的支援	子どもの心の問題について理解を深めるために、基礎的な考え方として、発達理論や臨床心理学からの視点を踏まえ、心の問題の捉え方、対応の仕方を学びます。特に、幼児期から児童期の子どもに現れやすい心の問題を取り上げ、教員としてどのように対応したらいいか、演習を通して学びます。	織田 栄子(聖霊女子短期大学生活文化科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月27日(土)	教諭	幼稚園教諭	40人
114	【選択】教科書で考える小学校教師の数学的活動	数学的活動とは、児童が目的意識を持って主体的に取り組む算数にかかわりのある様々な活動を意味する。具体的には「目を付ける」「考える」「調べる」「比べる」「表す」「使う」「振り返る」「発展させる」といった活動であり、それらが算数を学ぶ楽しさ、自ら算数を学び続けることにつながる。活動から学びへの一連の意識的なプロセスの形成には、それをデザインする教師の経験が重要である。本講習では、児童の数学的思考力を育む良問を分析し、授業化を検討していく。	佐藤 学(教育文化学部教授) 田仲 誠祐(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月27日(土)	教諭	小学校教諭	10人
115	【選択】特別支援教育－発達障害児の理解と支援－	障害児の教育は「特殊教育」から「特別支援教育」へと大きく転換し、障がいのある幼児児童生徒の教育は、特別な指導の場だけでなく、通常の学級においても必須になっている。したがって学校の教員は、「特別支援教育」に関する一層の実践力及び専門性が求められている。その一助となることを期待し、本講習では、学校における「気になる子」を取り上げ、発達障害等の特性を説明しながら具体的な支援方略について学ぶ。	鈴木 徹(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月27日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50人
116	【選択】子どもの食行動の特徴と支援	本講習では、子どもを取り巻く環境の変化や子どもの心身の健康と今日的課題について触れながら、子どもの食行動の特徴とその支援について考察する。幼稚園教育要領等に食育に関する事項が明記されて以降、園での食育が推進されている。子どもの食行動の特徴をとらえて、食を切り口として、子どもの園生活における保育者の支援について理解を深める。なお、食育に関して、園・学校、地域、家庭全体で取り組むこととされており、就学前の子どもの食行動の特徴をとらえることは、幼小連携の観点から重要であるため、受講対象を幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭とする。	瀬尾 知子(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月4日(土)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭	40人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
117	【選択】美術教育における鑑賞学習	美術教育における鑑賞学習の指導力を身に付けるために、鑑賞学習の基礎的な知識を身に付け、さらに美術館での鑑賞を体験する。そして、鑑賞学習の授業案を作成する。特に児童・生徒の関心・意欲・態度を高めることを主眼とする。	長瀬 達也(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月4日(土)	教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(美術)、高校教諭(美術)	12人
118	【選択】三角関数(値)がスッキリ分かる指導方法を探る	三角関数(三角比含む)は、上級学校への入試に課せられるだけでなく、理工学を学ぶ上で必須の基礎的関数の代表である。しかし、三角関数値すらキチンと求められない生徒・学生が少なからずいる。そこで、①指導展開例紹介、②定義を理解できない学習者心理を推しはかる(小中学校まで戻る)、③定義指導の要、④指導方法検討、⑤三角関数の活用例(弧度法、近似式、マクローリン級数、フーリエ級数)を取り上げ、指導改善を図る。	根岸 均(秋田大学客員教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月4日(土)	教諭	高校教諭(数学・工業・理科(特に物理))	8人
119	【選択】障がいと共生～心のバリアフリー教育の実践～	我が国は共生社会の形成に向け「障害者差別解消法」の制定など、障がいの有無にかかわらず共に生きる社会の仕組みづくりを進めており、学校においても心のバリアフリー教育の推進が求められています。本講習では、障がいと共生に関する講義に加え、障がいの疑似体験や障がい者スポーツ(ポッチャ)などの演習を通して、心のバリアフリー教育の理論と具体的な内容・方法について考えていきます。	藤井 慶博(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月4日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50人
120	【選択】秋田県の地震・津波災害と防災・減災教育	2011年に発生した東日本大震災以降、地域に則した防災教育の必要性が高まっている。また、秋田県では過去に多くの地震や津波災害が発生している。本講習では、秋田県の地震、津波の発生メカニズム、特性といった基礎的なことを説明した後、これら災害の歴史と特徴について説明する。そして、防災・減災へ向けて、これらの災害への対策や課題、防災教育のあり方について説明する。	水田 敏彦(地方創生センター教授) 鎌滝 孝信(地方創生センター准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月4日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	60人
121	【選択】「人生の樹」プロジェクトを用いた特別活動の実践と検証	【人生の樹】プロジェクト:臨床心理学のナラティブアプローチを基に、特別活動の時間向けに開発したキャリア学習の教材。その実践研究を行う。七月の講習は【人生の樹】に関する講義と運用説明、ならびにキャリア等に関する受講者の取り組み状況についての発表。夏休み後に各所属校で【人生の樹】を実践し、十一月の講習では全員がその実践報告・課題点について発表し、お互いに話し合う内容を試験とする。	森 和彦(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	12時間	令和2年7月4日(土)、 11月14日(土)	教諭	小学校教諭(高学年)、特別支援学校教諭(中学部・高等部)、中学校教諭・高校教諭で特別活動の時間を担当できる教諭	5人
122	【選択】学校教育と憲法	18歳選挙権に関わる問題(政治教育はどのように行えばよいのか、高校生の政治活動はどこまで認められるのか等)や学校における児童・生徒の基本的な人権など、学校教育において憲法をどのように活かすことができるのかについて、さまざまな事例を検討することを通して解説する。	棟久 敬(教育文化学部講師)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月5日(日)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(社会)、高校教諭(地歴・公民)	30人
123	【選択】幼児の理解と評価	幼児の教育・保育を充実させていく上での不可欠で重要な専門性は「幼児の理解」であり、改めて、主体的な活動の確保、一人一人の行動の理解と予想に基づいた、計画的な環境を構成すること、さらには幼児一人一人の発達を保障していくために、保育において、何をどのように評価していくのかを考察する。	畠山 君子(聖霊女子短期大学講師)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月11日(土)	教諭	幼稚園教諭	40人
124	【選択】近代文学の読解	明治以降、昭和にかけての近代小説をおもな題材とする。語り方、登場する人・物・生きものの関係など、読解の観点について考える。また、作品が発表された時代・社会的背景、文芸思潮や文学観との関連をふまえて考える。	山崎 義光(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月11日(土)	教諭	中学校教諭(国語)、高校教諭(国語)	20人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
125	【選択】佐竹氏と東国の大名たち-近世大名の成立過程-	佐竹氏は21世義宣の時代に常陸より出羽国秋田に移封し、義宣が初代藩主となって秋田藩を形成する。天正18年(1590)、小田原の北条氏が豊臣秀吉に屈服すると、義宣は北条氏の旧領に移された徳川家康と対峙したが、それまでは南の北条氏と北の伊達氏に挟まれ、厳しい軍事的緊張下に置かれていた。講習では、佐竹氏が上杉氏や武田氏、蘆名氏や岩城氏等と合従連衡を繰り返しながら近世大名へと転換した歴史過程について考察する。	渡辺 英夫(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月11日(土)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(社会)、高校教諭(地歴)	10人
126	【選択】特別支援教育-発達障害児の理解と支援-	障害児の教育は「特殊教育」から「特別支援教育」へと大きく転換し、障がいのある幼児児童生徒の教育は、特別な指導の場だけでなく、通常の学級においても必須になっている。したがって学校の教員は、「特別支援教育」に関する一層の実践力及び専門性が求められている。その一助となることを期待し、本講習では、学校における「気になる子」を取り上げ、発達障害等の特性を説明しながら具体的な支援方略について学ぶ。	鈴木 徹(教育文化学部准教授)	秋田県北秋田市	6時間	令和2年7月12日(日)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	40人
127	【選択】秋田の水を題材とした環境教育	秋田県内の各地には湧水や河川、湖沼など多様な水環境が存在しており、これらの中には歴史的な由来や伝承を有するものも多い。本講習では、このような水環境を題材として講義ならびに野外演習を行い、環境教育(環境の科学的な特徴や人々との関わりについての過去、現状、未来の環境変化の可能性について学習することで、生徒の環境問題にかかわるリテラシーや環境問題を身近な問題として捉える能力を高める)について理解を深める。実習対象地域には秋田大学手形キャンパス周辺を予定。	林 武司(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月18日(土)	教諭	全教諭	10人
128	【選択】保健体育科教育学概論-体育の授業をつくる・ふりかえる-	体育の目標や学習内容を確認し、各運動領域の特性を習得するための教材づくり、単元計画の立案の留意点を学ぶ。また、授業をふりかえるための授業研究の方法や評価項目についても検討を行う。	松本 奈緒(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月18日(土)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(保健体育)、高校教諭(保健体育)	40人
129	【選択】美術教育の彫刻(塑造)について題材・素材体験	美術教育における彫刻表現(塑造表現)の題材となるテーマの発想と、実際に彫刻作品を制作する素材を研究する。芯材を用い、自然硬化する粘土で人体表現や動物、植物など、授業に応用しやすい素材を学ぶ。立体表現に不可欠な空間把握能力や触覚による量を把握する能力を向上させる効果を考察する。何よりも”制作する喜び・楽しさ”を生徒に伝えるすべを学ぶ。	皆川 嘉博(秋田公立美術大学美術学部美術学科准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月18日(土)	教諭	中学校教諭(美術)、高校教諭(美術)	10人
130	【選択】総合的な学習の時間と地域創生「食と文化」	総合的な学習の時間を充実させるために、地域の伝統的な食文化や史跡などの教材化を通して、授業力の向上を図る。当日は、秋田内陸縦貫鉄道とその沿線地域から地域課題を設定し、地域課題解決のためのフィールドワーク及び教材開発に関する講義・試験が主な内容となる。	濱田 純(秋田大学客員教授)	秋田県北秋田市	6時間	令和2年7月24日(金)	教諭 栄養教諭	全教諭、栄養教諭	30人
131	【選択】秋田県の自然エネルギーと環境発電技術(熱電発電・太陽光発電)	環境発電技術とは「光・熱(温度差)・振動・電波」等の身の回りの環境中に存在するエネルギーを電力に変換する技術である。従来はその得られる電力量の少なからほとんど利用されてこなかったが、近年のデバイスの高性能化によって実用化されつつある。本講習では、環境発電の概要、環境発電技術の中の一つである熱電変換と太陽光発電について、そして秋田県の自然エネルギーの特徴とその環境発電への応用の可能性について学ぶ。	長南 安紀(秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科助教) 山口 博之(秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科准教授) 布田 潔(大学院理工学研究科非常勤講師)	秋田県由利本荘市	6時間	令和2年7月25日(土)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科・技術)、高校教諭(理科・工業)	25人
132	【選択】英語教材研究の視点	本講座では、英語授業の準備を行う際の教材研究の視点について考察する。特に、次期学習指導要領で求められている思考・判断・表現の力を身につけさせるために、何が求められているのかについて、実際に読解のタスクを体験しながら考えていく予定である。	若有 保彦(教育文化学部准教授)	秋田県横手市	6時間	令和2年7月25日(土)	教諭	中学校教諭(英語)、高校教諭(英語)	20人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
133	【選択】小学校英語指導の基礎知識	本講習では、小学校教員が英語または外国語活動を担当する上で重要と思われる知識について学んでいきます。具体的には、文字指導、読み聞かせ指導、また第二言語習得の理論の基礎的な内容や外国語担当教員に求められる資質等について扱う予定です。	若手 保彦(教育文化学部准教授)	秋田県横手市	6時間	令和2年7月26日(日)	教諭	小学校で英語または外国語活動を担当される教諭	20人
134	【選択】秋田の近代文学	プロレタリア文学運動の嚆矢となった雑誌『種蒔く人』の主要同人(小牧近江、金子洋文、今野賢三)、戦後の大ベストセラー作家石坂洋次郎、農民文学の代表的作家伊藤永之介、最後のプロレタリア作家と言われた行動派の松田時子、美貌の女流と騒がれた矢田津世子ら、秋田県ゆかりの作家の人生と文学活動について解説する。また、彼らの作品の教材化(「国語」「ふるさと学習」)の可能性も探りたいと考えている。	高橋 秀晴(秋田県立大学総合科学教育研究センター教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月27日(月)	教諭	中学校教諭(国語)、高校教諭(国語)	40人
135	【選択】ゆざわジオパークで学ぶ大地のつくりと変化	小学校や中学校理科の学習においては、実際の地層や露頭の観察を行う内容があるが、その野外観察の実施率は低い。その理由の一つとして、実際の露頭などでの指導方法に自信がない、ということが明らかになっている。そこで、ゆざわジオパークを利用して実際の露頭観察等を行い、野外観察学習の実際を体験する。その上で、指導方法を学んだり考えたりすることで資質・能力を高め、現場にて野外観察実習を指導できるようにすることを目的とする。	田口 瑞穂(教育文化学部講師)	秋田県湯沢市	6時間	令和2年7月27日(月)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科)	15人
136	【選択】木材の科学	石油の大量消費により生活は豊かになったが、地球温暖化などのグローバルな問題も生じており、21世紀は循環型資源に基づいた社会に変換することが求められている。そのためには、地球上で最も多量に存在する循環型資源である木材を効率的に利用することが肝要である。本講習は、1)木材の成り立ちや化学的成分、物理的性質など木材の科学的知見を6時間、2)木質資源の現状とCO2循環と温暖化抑制への寄与などについて6時間、3)製材や木質材料、紙、アルコール発酵や土木的利用などの代表的な利用について6時間を予定している。	中村 昇(秋田県立大学木材高度加工研究所教授) 林 知行(秋田県立大学木材高度加工研究所教授) 山内 繁(秋田県立大学木材高度加工研究所教授) 高田 克彦(秋田県立大学木材高度加工研究所教授) 栗本 康司(秋田県立大学木材高度加工研究所教授) 工藤 佳世(秋田県立大学木材高度加工研究所助教) 川井 安生(秋田県立大学木材高度加工研究所准教授) 澁谷 栄(秋田県立大学木材高度加工研究所准教授) 渡辺 千明(秋田県立大学木材高度加工研究所准教授) 岡崎 泰男(秋田県立大学木材高度加工研究所准教授) 山内 秀文(秋田県立大学木材高度加工研究所教授) 足立 幸司(秋田県立大学木材高度加工研究所准教授)	秋田県能代市	18時間	令和2年7月27日(月)～7月29日(水)	教諭	中学校教諭(数学・理科・技術)、高校教諭(数学・理科・農業・工業)	10人
137	【選択】第二言語習得論の視点から授業を再構築する	第二言語習得論の中の「教室での第二言語習得」に関わる部分について理解し応用する能力を養う。前半は、普段の授業を思い起こしながら、主に英語による講義とディスカッションにより、必要な用語や知識について理解を進める。後半は、自分の抱える課題について、大学の図書館で参考資料を利用しながら、前半で学習した第二言語習得の知識を活用して課題解決に取り組む。筆記試験は、「教室での第二言語習得」に関わる知識と、その知識を実践に生かす省察を問う。	佐々木 雅子(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月28日(火)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(英語)、高校教諭(英語)	12人
138	【選択】地域を体験できる日本史	秋田県内の遺跡を見学し、「地域の歴史」を素材に体験学習用の教材作成を行う。小学校、特別支援学校、中学校(社会)、高校(地歴・公民)、および総合学習に対応できるよう、メニューを提案する。また、「生きる力」を考える教材作成のメニューを提案する。	渡部 育子(秋田大学名誉教授)	秋田県大仙市	18時間	令和2年7月28日(火)、7月31日(金)、8月2日(月)	教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(社会)、高校教諭(地歴・公民)	20人
139	【選択】地域素材教材開発演習	狭義の地域学習(小学校における3・4年社会科)のみならず、中学校、高等学校においても生徒たちの学習圏や生活圏に存在する身近な地域素材は、社会科(地理歴史科、公民科)教育実践を豊かにするものである。本講習では、そうした地域素材を用いた実際の教材開発を試みたい。	外池 智(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	12時間	令和2年7月29日(水)～7月30日(木)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(社会)、高校教諭(地歴・公民)	20人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
140	【選択】データとコンピュータを使った人間の行動と社会の分析	税率が働く時間に与える影響や、労働市場における失業の変化の要因など、極めて実践的、現実的な社会経済の問題について、簡単な数学的なモデルと、国際間や時系列の統計データ、エクセルを使って、分析する方法を学び、それを実践する。数学、データ、コンピュータをすべてバランスよく使うことが特徴である。	俵 典和(国際教養大学国際教養学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月30日(木)	教諭	中学校教諭(数学・理科・技術・家庭)、高校教諭(数学・理科・家庭・情報・農業・工業・水産・商業)	15人
141	【選択】リスクで考える生活や学校の環境	化学物質汚染や自然災害など様々な環境問題に対する不適切な判断(無関心、過剰な怖れや期待など)が、個人や社会に影響を与えることがあります。講習では確率の概念である「リスク」をものさしとして、科学的な判断をするための方法を学びます。総合学習や日常の生活指導などにおいて、自律した冷静な判断を促すほか、科学への関心を高めるためにも役立ちます。本講習は参加型の講義形式(アクティブラーニング)で行います。	金澤 伸浩(秋田県立大学システム科学技術学部経営システム工学科准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月6日(木)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	24人
142	【選択】バイオイメージングの基礎と応用(顕微鏡のいまとむかしを知る)	植物バイオテクノロジーは、農業の生産性向上に欠かせない技術として、様々な分野で利用されています。本講義では、植物バイオテクノロジーの概要と作物の育種効率を飛躍的に向上させた植物バイオテクノロジーの利用について、研究事例を交えて解説します。また、電子顕微鏡やレーザー共焦点顕微鏡などの高分解能イメージング装置を用いたバイオイメージングの原理と応用例についても解説します。当日、テキストを配付する予定です。	尾崎 紀昭(秋田県立大学生物資源科学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月1日(土)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科)、高校教諭(理科・農業・工業・水産)	8人
143	【選択】柔道の指導法	柔道の指導法について、実技実習を行なう。技能、体力、運動意欲を向上させるうえで効果的な指導法について学習する。内容は、基本動作や対人的技能についての段階的な指導法、体ほぐしの運動の趣旨を生かした指導法などである。また、柔道における「伝統的な行動の仕方」の指導のあり方について考察する。	三戸 範之(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月2日(日)	教諭	中学校(保健体育)、高校(保健体育)、部活動で柔道の指導にあたる教諭	20人
144	【選択】美術教育の彫刻(塑造)について題材・素材体験	美術教育における彫刻表現(塑造表現)の題材となるテーマの発想と、実際に彫刻作品を制作する素材を研究する。芯材を用い、自然硬化する粘土で人体表現や動物、植物など、授業に応用しやすい素材を学ぶ。立体表現に不可欠な空間把握能力や触覚による量を把握する能力を向上させる効果を考察する。何よりも”制作する喜び・楽しさ”を生徒に伝えるすべを学ぶ。	皆川 嘉博(秋田公立美術大学美術学部美術学科准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月1日(土)	教諭 養護教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	10人
145	【選択】英語教材研究の視点	本講座では、英語授業の準備を行う際の教材研究の視点について考察する。特に、次期学習指導要領で求められている思考・判断・表現の力を身につけさせるために、何が求められているのかについて、実際に読解のタスクを体験しながら考えていく予定である。	若有 保彦(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月1日(土)	教諭	中学校教諭(英語)、高校教諭(英語)	20人
146	【選択】Activate Your English!	学習意欲が低い生徒集団を指導することも視野に入れ、生徒の意欲、関心を高めるための授業作り、補助教材(ハンドアウト)作成、考査及び小テストの作成と評価の方法について実践的な立場から幅広く論じる。中学校、高等学校のいずれかに議論が偏るのを避けるため、担当者は、中学校教諭経験を持つ者、高校教諭経験を持つ者の2名が担当する。トピックによって、担当者は日本語と英語を使い分けて講義を進める。	内田 浩樹(国際教養大学大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科教授) 町田 智久(国際教養大学大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月2日(日)	教諭	中学校教諭(英語)、高校教諭(英語)	14人
147	【選択】小学校英語指導の基礎知識	本講習では、小学校教員が英語または外国語活動を担当する上で重要と思われる知識について学んでいきます。具体的には、文字指導、読み聞かせ指導、また第二言語習得の理論の基礎的な内容や外国語担当教員に求められる資質等について扱う予定です。	若有 保彦(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月2日(日)	教諭	小学校で英語または外国語活動を担当される教諭	20人
148	【選択】小学校英語教育	小学校英語活動の目的を理解し、中学校・高等学校との違いを認識しながら、一貫性を知る。その内容と方法、指導技術、評価などについて学ぶ。英語が得意ではない先生が英語を教えることに対する不安・心配を話し合い、それをなくす方法を探る。	John Thurlow(聖霊女子短期大学生生活文化科専任講師)	秋田県秋田市	12時間	令和2年8月3日(水)～8月5日(金)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(英語)、高校教諭(英語)	30人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
149	【選択】算数・数学を貫く量概念の形成(イメージする力を付けましょう)	スマホやパソコンが必需品となり、世の中はまさにデジタル全盛期です。その一方で子供たちの量感覚(アナログ)はどうかといえば極めて「貧弱」と言わざるを得ません。量による裏付けのない数値は子供にとって単なる記号と認識されがちであり、いきおい彼らの知的好奇心・学習意欲の向上に支障が出ます。子供たちの心理を踏まえ、量概念の形成について小中高を貫く指導方法を深めます。	根岸 均(秋田大学客員教授)	秋田県大仙市	6時間	令和2年8月4日(火)	教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(数学)、高校教諭(数学)	12人
150	【選択】リスニングテストとリスニング指導	本講習では、普段用いているリスニングテストを、理論と実践を通して振り返る。用いたテストが何を測定しているのか、本来どうあるべきなのかを、ワークショップ形式を中心に、他の受講者とともに議論し、考える中で、翌日から使用する身近なリスニングテストを改善することを目的とする。さらに、生徒に意図するリスニング力をつけさせるためにはどのような活動が必要かも考える。	濱田 陽(高等教育グローバルセンター准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月4日(火)	教諭	中学校教諭(英語)、高校教諭(英語)	20人
151	【選択】英語研究と英語教育	残念ながら現在でも、日本の中学校、高等学校の英語教科書には現代英文法研究の成果が十分に組み込まれているとは言い難い。この状況を踏まえ、本講習では受講の先生方に、1) 現代英文法研究の成果をできる限り深く、的確に理解し、2) 英語表現への感受性を高め、3) 生徒らによる英語表現への分析力を向上させていただき、4) 将来の英語教育において、これまで以上に英文法も含め、英語をできる限り英語のみを使用して教えていただけるようになることを主な目的とする。	星 宏人(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月4日(火)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(英語)、高校教諭(英語)	15人
152	【選択】幼児と環境	講義・協議及び実技による講習とする。身近な環境に関わる生活や遊びの体験と幼児期の育ちとの関連について理解するとともに、「思考力の芽生え」を中心に子どもの姿と保育者の援助に関する講義や協議を通して実践的な理解を深める内容とする。また、身近な草花や簡単な日用雑貨を用いた製作や遊びの体験を通して保育者としての資質向上に資する内容とを組み合わせた講習とする。	永井 博敏(聖園学園短期大学学生部長・教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月5日(水)	教諭	幼稚園教諭	30人
153	【選択】保育内容の基礎と実践(幼児理解)	「幼稚園教育要領」の趣旨を踏まえ、幼児の生活や遊びを言葉の発達や人間関係の視点から捉え直す。また、映像資料やグループディスカッションを通して幼児理解を深め、援助や環境の在り方を考察し日常の実践力につなげる。	蛭田 一美(聖園学園短期大学准教授) 猿田 興子(聖園学園短期大学准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月5日(水)	教諭	幼稚園教諭	40人
154	【選択】現代社会と家庭	幼稚園教諭を対象に保護者の置かれている現状を理解し、その支援に役立つ内容としたい。そのために、最近の家庭の現状を理解し、その対応を探りつつ、相談援助に役立つ内容とする。現代の社会における様々な病理、児童虐待、DVなどにおける支援を取り上げ、困難にある保護者に対する個人としての、また、園としての支援を探りたい。	藤原 法生(聖園学園短期大学講師) 佐々木 久仁明(聖園学園短期大学非常勤講師)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月5日(水)	教諭	幼稚園教諭	40人
155	【選択】幼児と環境	講義・協議及び実技による講習とする。身近な環境に関わる生活や遊びの体験と幼児期の育ちとの関連について理解するとともに、「思考力の芽生え」を中心に子どもの姿と保育者の援助に関する講義や協議を通して実践的な理解を深める内容とする。また、身近な草花や簡単な日用雑貨を用いた製作や遊びの体験を通して保育者としての資質向上に資する内容とを組み合わせた講習とする。	永井 博敏(聖園学園短期大学学生部長・教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月6日(木)	教諭	幼稚園教諭	30人
156	【選択】保育内容の基礎と実践(幼児理解)	「幼稚園教育要領」の趣旨を踏まえ、幼児の生活や遊びを言葉の発達や人間関係の視点から捉え直す。また、映像資料やグループディスカッションを通して幼児理解を深め、援助や環境の在り方を考察し日常の実践力につなげる。	蛭田 一美(聖園学園短期大学准教授) 猿田 興子(聖園学園短期大学准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月6日(木)	教諭	幼稚園教諭	40人
157	【選択】現代社会と家庭	幼稚園教諭を対象に保護者の置かれている現状を理解し、その支援に役立つ内容としたい。そのために、最近の家庭の現状を理解し、その対応を探りつつ、相談援助に役立つ内容とする。現代の社会における様々な病理、児童虐待、DVなどにおける支援を取り上げ、困難にある保護者に対する個人としての、また、園としての支援を探りたい。	藤原 法生(聖園学園短期大学講師) 佐々木 久仁明(聖園学園短期大学非常勤講師)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月6日(木)	教諭	幼稚園教諭	40人
158	【選択】成長を引き出す教育相談～解決志向・予防・開発のカウンセリング技法	過去・現在に留まる原因追及型ではなく、教育相談に使える未来志向・解決志向の問題解決の技法について学ぶ。また問題解決だけでなく、予防・開発教育につながるカウンセリング技法について、グループワーク・ロールプレイング等を通じて体験的に学ぶ。	渡部 昌平(秋田県立大学総合科学教育研究センター准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月6日(木)	教諭	小学校教諭、中学校教諭、高校教諭	40人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
159	【選択】養護教諭に求められる今日的課題への対応	養護教諭が今日直面している課題の中から「学校カウンセリング」、「発達障害児への対応」、「生活習慣病対策」、「学校における救急対応」、「健康相談活動について」をとりあげ、講義とワークショップによる修得を目指す。	高田 由美(日本赤十字秋田看護大学教授) 齋藤 和樹(日本赤十字秋田看護大学准教授) 南部 泰士(日本赤十字秋田看護大学准教授) 荻原 麻紀(日本赤十字秋田看護大学講師) 鈴木 美里(日本赤十字秋田看護大学講師) 渡部 泰弘(秋田県立医療療育センター科長)	秋田県秋田市	12時間	令和2年8月6日(木)～ 8月7日(金)	養護教諭	養護教諭	30人
160	【選択】理科教育における写真の活用と撮影技術の向上	理科教材としての写真撮影や観察・実験の結果資料としての写真撮影の機会が多いが、思うように撮れず教材として使いにくかった経験はないだろうか。それを解決する技術等を身に付け、現場で役立てることができるようになるのがこの講義・演習の目的である。ここでは、撮影理論と実践、相互評価、活用方法の検討を行い、その技量を高めていく。	田口 瑞穂(教育文化学部講師)	秋田県秋田市	12時間	令和2年8月6日(木)～ 8月7日(金)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科)、高校教諭(理科)	20人
161	【選択】演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力の向上	・世界はグローバル化とその逆の流れが平行して進み、正解のない課題、経験したことがない課題と直面する時代。このような「多文化共生」時代を生きる子どもたちには、コミュニケーション能力の育成が極めて重要である。 ・演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力向上を目指し、教師自身が身体性や身体感覚を豊かにすることで、他者との関係づくりが進むことを体感する。そして、児童生徒のコミュニケーション能力を高める実践的な指導力を身に付ける。	越後谷 真悦(秋田大学男鹿なまはげ分校長) 栗城 宏(秋田大学非常勤講師、わらび座脚本家)	秋田県仙北市	6時間	令和2年8月7日(金)	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園教諭	10人
162	【選択】演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力の向上	・世界はグローバル化とその逆の流れが平行して進み、正解のない課題、経験したことがない課題と直面する時代。このような「多文化共生」時代を生きる子どもたちには、コミュニケーション能力の育成が極めて重要である。 ・演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力向上を目指し、教師自身が身体性や身体感覚を豊かにすることで、他者との関係づくりが進むことを体感する。そして、児童生徒のコミュニケーション能力を高める実践的な指導力を身に付ける。	越後谷 真悦(秋田大学男鹿なまはげ分校長) 栗城 宏(秋田大学非常勤講師、わらび座脚本家)	秋田県仙北市	6時間	令和2年8月7日(金)	教諭 養護教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭、栄養教諭	15人
163	【選択】演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力の向上	・世界はグローバル化とその逆の流れが平行して進み、正解のない課題、経験したことがない課題と直面する時代。このような「多文化共生」時代を生きる子どもたちには、コミュニケーション能力の育成が極めて重要である。 ・演劇訓練スキルによるコミュニケーション能力向上を目指し、教師自身が身体性や身体感覚を豊かにすることで、他者との関係づくりが進むことを体感する。そして、児童生徒のコミュニケーション能力を高める実践的な指導力を身に付ける。	越後谷 真悦(秋田大学男鹿なまはげ分校長) 栗城 宏(秋田大学非常勤講師、わらび座脚本家)	秋田県仙北市	6時間	令和2年8月7日(金)	教諭 養護教諭 栄養教諭	高校教諭	5人
164	【選択】幼児と環境	講義・協議及び実技による講習とする。身近な環境に関わる生活や遊びの体験と幼児期の育ちとの関連について理解するとともに、「思考力の芽生え」を中心に子どもの姿と保育者の援助に関する講義や協議を通して実践的な理解を深める内容とする。また、身近な草花や簡単な日用雑貨を用いた製作や遊びの体験を通して保育者としての資質向上に資する内容とを組み合わせた講習とする。	永井 博敏(聖園学園短期大学学生部長・教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月7日(金)	教諭	幼稚園教諭	30人
165	【選択】保育内容の基礎と実践(幼児理解)	「幼稚園教育要領」の趣旨を踏まえ、幼児の生活や遊びを言葉の発達や人間関係の視点から捉え直す。また、映像資料やグループディスカッションを通して幼児理解を深め、援助や環境の在り方を考察し日常の実践力につなげる。	蛭田 一美(聖園学園短期大学准教授) 猿田 興子(聖園学園短期大学准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月7日(金)	教諭	幼稚園教諭	40人
166	【選択】現代社会と家庭	幼稚園教諭を対象に保護者の置かれている現状を理解し、その支援に役立つ内容としたい。そのために、最近の家庭の現状を理解し、その対応を探りつつ、相談援助に役立つ内容とする。現代の社会における様々な病理、児童虐待、DVなどにおける支援を取り上げ、困難にある保護者に対する個人としての、また、園としての支援を探りたい。	藤原 法生(聖園学園短期大学講師) 佐々木 久仁明(聖園学園短期大学非常勤講師)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月7日(金)	教諭	幼稚園教諭	40人
167	【選択】情報デザイン入門	一般的に「デザイン」は造形表現の対象として扱われるが、現在では「世の中の諸問題を解決する手段」として重視されている。学校現場の場面でも、学習環境の改善、教材研究の効率化など、有効に作用する部分が数多く存在する。このデザインを「情報」という面からみると『わかりやすさ』をどのようにつくっていくか』ということがポイントとなる。本講義では「わかりやすさのデザイン」をキーワードに、「情報デザイン」の基礎的な内容について理解を深めるとともに、情報デザインを展開する上で必要な知識・技術の習得を目的とする。	石井 宏一(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月8日(土)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭、高校教諭	20人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
168	【選択】魏晋南北朝隋唐史研究における近年の動向と成果	中国の魏晋南北朝隋唐時代史の研究における近年の動向と成果について解説する。また重要な成果については関係論文を講読し、先行研究との相違や根拠となる史料の解釈等について解説する。その上で実証過程や結論の妥当性について検討、議論し、理解を深める。取り上げる事項は、高等学校の世界史教科書の内容から重要度の高いものを選ぶ。	内田 昌功(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月8日(土)	教諭	中学校教諭(社会)、高校教諭(地歴)	15人
169	【選択】ゾウリムシ、プラナリア等の観察から動物の体のつくりを考える	動物の体のつくりの全体像を把握することを目的とする。ゾウリムシやプラナリアはヒトとは大きく異なる生物のように見えるが、基本的には同じメカニズムで生きている。ゾウリムシには1つの細胞しかなく、多細胞であるプラナリアでも心臓がない。なぜ「1つの細胞で」、「心臓がなくて」生きていけるのかを考えることにより、ヒトの中で働く複雑な臓器本来の姿が見えてくる。	河又 邦彦(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	12時間	令和2年8月8日(土)～8月9日(日)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科)、高校教諭(理科)	16人
170	【選択】幼児期の発達と教育の独自性	幼児期の発達の特性を「遊び」と「学び」をキーワードとして考える。そこから、幼児期の教育・保育の独自性とは何かという課題を、主に幼児の主体的活動と保育の意図という側面から、今日的課題を踏まえて考察する。なお、幼小連携の観点から小学校も対象とする。	山名 裕子(教育文化学部教授) 奥山 順子(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	18時間	令和2年8月9日(日)～8月11日(火)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭	60人
171	【選択】幼児期の発達と教育の独自性	幼児期の発達の特性を「遊び」と「学び」をキーワードとして考える。そこから、幼児期の教育・保育の独自性とは何かという課題を、主に幼児の主体的活動と保育の意図という側面から、今日的課題を踏まえて考察する。なお、幼小連携の観点から小学校も対象とする。	山名 裕子(教育文化学部教授) 奥山 順子(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	18時間	令和2年8月9日(日)～8月11日(火)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭	60人
172	【選択】特別支援教育ー知的障害児の理解と教育の実際ー	障害児の理解に向けて、知的障害児を中心に文化史や教育史といった歴史的背景や発達のとらえ方から考えていく。また、知的障害児教育には、指導法としての領域・教科を合わせた指導など、指導内容及び指導方法に関する独自性が存在する。そこで、知的障害児の学習上の特性に応じた対応の基本を中心に、教育課程の在り方も含めて教育現場の指導実践例も紹介しながら学んでいく。	谷村 佳則(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月10日(月)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50人
173	【選択】図形の合同と1次変換	平面上の図形の形を変えない移動は、平行移動・回転移動・線対称移動の組み合わせであることが定理として確立している。平面上の図形の移動を表す方法に座標の1次変換とよばれる方法がある。講義では、座標の1次変換の理論を通じて平面図形の平行移動・回転移動・線対称移動の関係を学ぶ。	山口 祥司(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月10日(月)	教諭	中学校教諭(数学)、高校教諭(数学)	20人
174	【選択】生物分野の実験教材を体得する	現在の教育現場は、生物分野の教材研究を行う際に時間的・技術的・設備的制約が多く、十分な教材研究が行われているとは言えない状況にある。特に小学校教育の現場では、理科の実験を不得意とする教員が少なからず存在する。そこで本講座では、小・中・高の教育現場における生物分野の教材作りを受講者に実際に体得してもらう。具体的には、顕微鏡を用いた教材作り・解剖教材作り・デジタル教材作りなどを体得してもらう。	石井 照久(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	18時間	令和2年8月10日(月)～8月12日(水)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科・技術・家庭)、高校教諭(理科・家庭・情報・農業・工業・水産)	16人
175	【選択】高校数学からの微分方程式	高校数学(微分積分)の延長として、微分方程式(変数分離形・一階線形)の初歩を学ぶ。具体的には微分方程式の解の求め方(計算)と簡単な理論(証明)を行う。また高校数学に現れる『平均値の定理』、『原始関数』、『定積分』などの基礎定理の復習も行い、微分積分のより深い理解を目指す。	原田 潤一(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月11日(火)	教諭	高校教諭(数学)	20人
176	【選択】家庭科における授業づくり	家庭科をめぐる今日的な課題を確認したうえで、小・中・高等学校の学習内容の関連性を意識しながら、児童・生徒が生涯にわたり自立した生活を送る主体となるための基礎的な能力の獲得を目指す指導の在り方を検討していく。	堀江 さおり(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月11日(火)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(家庭)、高校教諭(家庭)	12人
177	【選択】指揮法の応用と課題解決	指揮法の基本的な型を確認・練習したのち、ベートーヴェン作曲『コリオラン』序曲をメインの教材として指揮実技の訓練を行います。この過程で各自の課題の改善を図ります。受講者は4台のピアノに分かれて片手でいいのでピアノ用に編曲された同曲の演奏に参加して頂きます。ピアノはみんなで弾くので上手でなくても大丈夫です。指揮棒は各自持参可。安価なタイプの指揮棒は当日用意しておきます。試験は『コリオラン』の指揮です。※ピアノの代わりに、管弦楽器を持参して演奏に加わっても構いません。パート譜は用意します。	石原 慎司(教育文化学部講師)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月13日(木)	教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(音楽)、高校教諭(音楽)	16人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
178	【選択】地理学的な調べ方・考え方・まとめ方を学ぶⅡ	地理学的な調べ方・考え方・まとめ方について、生活文化の地理学、地域振興の地理学、地理情報システムの基礎、地形図を見ながら「まち・むら」を歩いて地理写真を撮る野外観察実習等を通じて学び、また、「地理」学習・授業上の工夫・問題点を受講者間で討論・意見交換する。小中高教諭の授業内容の充実に資する「世界を広くとらえて視野の狭さを廃する」[地理学的なもの見方]等を紹介解説し、参加者全員でその改善を討議する。	篠原 秀一(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	18時間	令和2年8月14日(金)～8月16日(日)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(社会)、高校教諭(地歴・公民)	12人
179	【選択】遺伝子から学ぶ最先端生物学	生物学は、遺伝子の本体であるDNAの理解によって様変わりしました。遺伝子のレベルで生物学を説明することが可能になってきました。今回、遺伝子のレベルで説明する生物学の講義をまとめてみることにしました。遺伝子からDNA組換え技術、細胞や個体発生への理解などの課題を遺伝子を中心に講義をします。当日、テキストを配布する予定です。	村口 元(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科准教授) 村田 純(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月17日(月)	教諭	中学校教諭(理科)、高校教諭(理科)	20人
180	【選択】食・食育を生物学から考えるー自ら食材を解剖・観察するー	食とは生き物をありがたくいただくことである。食材を敬う「食育」を実践できるような教員の資質向上を目指し「食」を生物学の視点から解説する。なぜ食う食われるが成立するのか・消化や生きるとはどういうことなのかを、生き物の起源、細胞の組成、栄養素および遺伝現象について学ぶとともに、実際に受講者自身で生き物の解剖と観察を行うことにより理解する。食物アレルギー問題、遺伝子組換え作物・ゲノム編集食品の安全性、地産地消等も扱う。	石井 照久(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	18時間	令和2年8月17日(月)～8月19日(水)	教諭 栄養教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科・技術・家庭)、高校教諭(理科・家庭・情報・農業・工業・水産)、栄養教諭	16人
181	【選択】作物の病害診断Ⅰ(顕微鏡の利用を中心とした糸状菌病の診断法)	作物の生産を阻害する病害虫を防除するためには、的確な診断技術と発生生態に関する知識が必要である。本講習では、秋田県内で発生する主要病害について、診断技術と発生生態に関する基礎的知識を実習形式で学ぶ。	藤 晋一(秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科教授) 戸田 武(秋田県立大学生物資源科学部助教)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月18日(火)	教諭	中学校教諭(理科)、高校教諭(理科・農業)	10人
182	【選択】障がいと共生～心のバリアフリー教育の実践～	我が国は共生社会の形成に向け「障害者差別解消法」の制定など、障がいの有無にかかわらず共に生きる社会の仕組みづくりを進めており、学校においても心のバリアフリー教育の推進が求められています。本講習では、障がいと共生に関する講義に加え、障がいの疑似体験や障がい者スポーツ(ボッチャ)などの演習を通して、心のバリアフリー教育の理論と具体的な内容・方法について考えていきます。	藤井 慶博(大学院教育学研究科教授)	秋田県北秋田市	6時間	令和2年8月18日(火)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	40人
183	【選択】科学技術の進歩とエネルギーー医療と産業での放射線利用技術ー	最新の科学技術とエネルギーが小中高の理科の学習内容とされている。これらの例として、中高の教科書には、医療や産業における放射線の利用が取り上げられている。本講習では、放射線についてその基礎から応用について学び、理解を深めることを目標とする。研修項目、1.放射線の物理・化学的性質 2.身の回りの放射線 3.福島第1原子力発電所事故からの放射能 4.放射線の人体への影響 5.工業、農業での放射線の利用 6.医療における放射線の利用	岩田 吉弘(教育文化学部教授)	秋田県横手市	6時間	令和2年9月26日(土)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科・技術)、高校教諭(理科・工業)	20人
184	【選択】エネルギー環境技術～秋田県とのかかわりを中心に～	風力などの再生可能エネルギーの導入、バイオマスなど天然資源の有効活用、微生物の異常発生に起因する環境問題、電気自動車などの次世代自動車の普及など、近年、エネルギーと環境に関する社会情勢は大きく変化しています。本授業では、エネルギーおよび環境に関する社会的動向を把握しつつ、秋田県との関連が深いエネルギーと環境技術についての基礎知識を修得します。	熊谷 誠治(大学院理工学研究科教授) カピール・ムハムドゥル(大学院理工学研究科准教授) 富岡 雅弘(大学院理工学研究科特任助教)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月19日(水)	教諭	高校教諭(理科・情報・農業・工業・水産)	20人
185	【選択】作物の病害診断Ⅱ(電子顕微鏡と生物工学を用いたウイルス病診断)	作物の生産を阻害する病害虫による被害の予防、回避、および防除には、発生生態の知識と的確かつ迅速な病害虫の診断技術が必要です。本講習では、秋田県内で発生している病害虫を材料として、医学分野でも頻りに用いられている、血清学、あるいは遺伝子工学を利用した病原菌の診断技術についての実験と講義を行います。	藤 晋一(秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月19日(水)	教諭	高校教諭(理科・農業)	10人
186	【選択】部屋割り論法と存在性証明	部屋割り論法(鳩の巣原理)は高等学校学習指導要領(数学編)において、整数の性質に関連して扱われている。高等数学における存在性証明における有力な手段であるが、学習指導要領の他の項目と性格が異なり、高校生にとって分かりにくい面がある。本講習では部屋割り論法の整数の性質への応用以外に高校生が興味を引くであろう組合せの問題を取り上げその有用性を示し、存在性証明の意義について考察する。	山村 明弘(大学院理工学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月19日(水)	教諭	高校教諭(数学・情報)	10人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
187	【選択】食品科学の最前線(食の安全確保、健康維持機能の活用、世界の食糧需給構造について)	【全体の概要】食品科学に関する基礎知識及び最近の食をめぐる様々な問題について解説する。【食の安全と安心】放射能汚染問題や学校給食におけるアレルギー等の食の安全に係わる問題について解説する。【食とメタボリック症候群】急増するメタボリック症候群の実態を紹介し、食の健康維持機能について解説する。【食の近未来】世界の食糧需給構造や、わが国の近未来における食の安全保障について解説する。	秋山 美展(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授)	秋田県秋田市	18時間	令和2年9月5日(土)～6日(日)、12日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(理科・家庭)、高校教諭(理科・家庭、農業、工業、水産)、養護教諭、栄養教諭	20人
188	【選択】科学技術の進歩とエネルギー—原子力エネルギーの利用—	最新の科学技術とエネルギーが小中高の理科の学習内容とされている。これらの例として、中高の教科書には、原子力発電や放射性廃棄物などが取り上げられている。本講習では、原子力エネルギーの利用についてその基礎から応用について学び、理解を深めることを目標とする。研修項目、1.臨界現象と原子力炉 2.原子力発電のしくみ 3.核燃料と再処理 4.プルトニウム利用と高速増殖炉 5.放射性廃棄物の処理処分 6.福島第1原子力発電所の廃炉	岩田 吉弘(教育文化学部教授)	秋田県横手市	6時間	令和2年9月27日(日)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科・技術)、高校教諭(理科・工業)	20人
189	【選択】基礎から応用まで、わかりやすい最新バイオテクノロジー	バイオテクノロジーはますます脚光を浴びている。最近では、ヒト多能性細胞を遺伝子操作などで作ることもできるようになり、応用への期待が高まっている。バイオ技術はDNAを取り扱うことから発展してきた。そこで遺伝子DNAを実際に生物から抽出する実験を行い、教育現場での応用について考える。また、最新のバイオテクノロジーについて解り易く解説し、その倫理的側面についても生徒と一緒に考える材料を提供する。	福島 淳(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科教授) 水野 幸一(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科准教授) 志村 洋一郎(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科助教) 竹下 和貴(秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科助教)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月20日(木)	教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(理科)、高校教諭(理科・農業・工業・水産)	30人
190	【選択】実験で学ぶ生物の遺伝子DNA—自らDNAを抽出する—	遺伝子DNAは、医療現場・個人の遺伝情報管理・食品の産地や遺伝子組換えのチェック・ゲノム編集食品・犯罪捜査と親子鑑定・考古学等への利用、など日常生活・食生活および食育で非常に身近な存在となっていて、その理解を深めることは全校種、全教科で必要かつ重要である。また簡易DNA抽出法を伝授するので教育現場での実践が可能となる。(主な内容:簡易DNA抽出法の体得、精密な抽出と解析技術の体験、日常生活での利用法の理解)	石井 照久(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	18時間	令和2年8月20日(木)～8月22日(土)	教諭 栄養教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科・技術・家庭)、高校教諭(理科・家庭・情報・農業・工業・水産)、栄養教諭	16人
191	【選択】発声法と歌唱法	実技として呼吸体操、基礎発声、音階練習等の発声法の基礎を行う。そして歌詞と音楽の解釈を行いながら、歌唱技能の向上と改善方法について受講者がグループ討論を行いながら検討していく。	爲我井 壽一(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月22日(土)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(音楽)、高校教諭(音楽)	12人
192	【選択】美術教育における鑑賞学習	美術教育における鑑賞学習の指導力を身に付けるために、鑑賞学習の基礎的な知識を身に付け、さらに美術館での鑑賞を体験する。そして、鑑賞学習の授業案を作成する。特に児童・生徒の関心・意欲・態度を高めることを主眼とする。	長瀬 達也(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月22日(土)	教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(美術)、高校教諭(美術)	12人
193	【選択】説明的文章の教材研究	主に小学校の説明的文章教材を対象として、話題・題材、文種、意味構造などを分析し、指導計画の立案に生かせる教材研究の方法の習得を目指します。意味構造については、文法論的文章論を参考に、接続・連鎖・統括の面から文や段落の意味の重層性、展開の様相を分析し、その結果を図式化する活動を行います。担当講師が用意する小学校教材3つ程度、中学校教材1つ程度について、グループや全体で受講者どうしが協議しながら取り組むことを予定しています。	成田 雅樹(教育文化学部教授)	秋田県北秋田市	6時間	令和2年8月22日(土)	教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(国語)	20人
194	【選択】近世日本海海運の展開と秋田	近世、江戸時代は米経済の時代であり、年貢米を中央市場に出荷する必要性から河川水運と海運を連結した水運機構が全国規模で整備された。それは、幕府諸藩が運賃契約で廻船を雇用する方式だったが、日本海沿岸にはそれとは違い自己資本で積荷を買い込んで他の湊に廻漕して販売を繰り返すという特徴的な海運が展開した。こうした日本海海運の具体像を検討することにより秋田から全国を見通す視点について考察したい。	渡辺 英夫(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月22日(土)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(社会)、高校教諭(地歴)	10人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
195	【選択】現代社会における学校・教育と不平等・格差	教育と学校における階層の「再生産」や不平等、また社会における不平等に関する社会学や政治学、経済学、哲学などの文献を読みながら、現代社会の特性と、そのなかでの学校と教育、階層、不平等、子どもの貧困、格差の問題について考えていきます。教育での不平等の問題に限定せず、平等とはどのようなことなのか、という問題について、さまざまな考え方をこの講習の目標にします。	和泉 浩(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	12時間	令和2年8月22日(土)～8月23日(日)	教諭 養護教諭	全教諭、養護教諭	20人
196	【選択】力学における保存則と対称性	物体の運動についての有名な法則の一つとして運動量保存則がある。他にもエネルギー保存則や角運動量保存則などが知られている。この講習ではこれらの保存則がどのような時になぜ成り立つのかについて、物理的な対象が持つ対称性の観点から考察し理解を深める。	小野田 勝(大学院理工学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月23日(日)	教諭	高校教諭(理科)	20人
197	【選択】確率統計-基礎と応用-	高等学校で習う数学をベースに、確率論と数理統計学の基礎と応用について学びます。確率、確率変数、期待値等の基本的な概念の理解、及び、統計量や、確率分布、相関、回帰分析の概念、標本から全体を推測するための統計的推定や統計的仮説検定などの考え方が主なテーマです。数理統計にかかわる応用問題、数理モデルについても扱い、数学的視点と応用・役立て方としての視点で解説します。簡単な計算による演習も実施します。専門的な数学・統計学の予備知識等は必要としません。	木村 寛(秋田県立大学システム科学技術学部教授) 星野 満博(秋田県立大学システム科学技術学部准教授)	秋田県由利本荘市	6時間	令和2年8月24日(月)	教諭	中学校教諭(数学)、高校教諭(数学)	30人
198	【選択】中世・ルネサンスの音楽にふれてみよう	ヨーロッパにおける中世・ルネサンス時代には、シンプルで親しみやすい音楽作品が数多く残されています。講習では当時の記譜にふれ、特徴的な楽器を学び、音楽を聴き、歌い(歌唱実践)、旋律楽器や打楽器を奏で(器楽実践)、さらには身体活動(ダンス実践)を交えた実践活動を行います。またダンス音楽を用いて、音楽科と体育科を融合させたアンサンブル活動へと展開可能な実践方法と指導上のポイントについても取り上げます。	吉澤 恭子(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月24日(月)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(音楽)	10人
199	【選択】小・中学校の作文評価法研修	全米学力調査NAEPの文章類別「P:説得」について、児童・生徒が書いた作文の分析を通して、多観点3段階の「評価基準」の設定と、該当例文の選定を行い、妥当性・信頼性の高い作文評価能力の習得を目指します。	成田 雅樹(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月29日(土)	教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(国語)	20人
200	【選択】実験で学ぶ水溶液の性質	水溶液の性質は小学校理科から高校化学基礎において、粒子、エネルギー概念の獲得において重要である。本講習では、下の実験を通じ、児童生徒に実感をもった指導ができる力量の獲得を目標とする。実験は2-3人の少人数グループで実施し、実験結果に関する択一式の試験を項目ごとにおこなう。1 溶解現象と熱の出入り、2 電解質溶液の性質、3 電気分解と電池。	岩田 吉弘(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年9月6日(日)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科)、高校教諭(理科)	18人
201	【選択】人工知能と呼ばれるモノ	近年、人工知能と呼ばれるモノがいろいろな分野に進出しているが、その多くの基本構造は高校から大学初年次の数学を用いて記述することが出来る。本講義ではこれを平易に解説したい。若い世代ほどその将来を人工知能と呼ばれるモノに左右される可能性が高いであろう。そのような世代が通う学校の先生方の教育指導の一助となればと考えている。	河上 肇(大学院理工学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年9月5日(土)	教諭	中学校教諭(数学)、高校教諭(数学・情報)	20人
202	【選択】大人が支えるインターネットセキュリティを考える	PCのみならず、スマートフォン、ゲーム機等、携帯型ネット機器の普及により、子どもたちのインターネット利用はより身近になる一方、「ネットいじめ」や犯罪等のトラブルに巻き込まれる危険性が問題となっています。そこで、養護教諭や栄養教諭を含む学校関係者が、子どもたちのインターネット利用の問題を理解し、保護者や地域住民による子どもたちの健全なインターネット利用環境づくりのあり方について考えます。	鈴木 翔(教育文化学部准教授) 櫻庭 直(秋田県教育庁生涯学習課社会教育主事)	秋田県秋田市	6時間	令和2年9月5日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	15人
203	【選択】説明的文章の教材研究	主に小学校の説明的文章教材を対象として、話題・題材、文種、意味構造などを分析し、指導計画の立案に生かせる教材研究の方法の習得を目指します。意味構造については、文法論的文章論を参考に、接続・連鎖・統括の面から文や段落の意味の重層性、展開の様相を分析し、その結果を図式化する活動を行います。担当講師が用意する小学校教材3つ程度、中学校教材1つ程度について、グループや全体で受講者どうしが協議しながら取り組むことを予定しています。	成田 雅樹(教育文化学部教授)	秋田県横手市	6時間	令和2年9月5日(土)	教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(国語)	20人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
204	【選択】障がいと共生～心のバリアフリー教育の実践～	我が国は共生社会の形成に向け「障害者差別解消法」の制定など、障がいの有無にかかわらず共に生きる社会の仕組みづくりを進めており、学校においても心のバリアフリー教育の推進が求められています。本講習では、障がいと共生に関する講義に加え、障がいの疑似体験や障がい者スポーツ(ボッチャ)などの演習を通して、心のバリアフリー教育の理論と具体的な内容・方法について考えていきます。	藤井 慶博(大学院教育学研究科教授)	秋田県横手市	6時間	令和2年9月5日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50人
205	【選択】初等整数論とその応用	整数全体 $\{\dots,-2,-1,0,1,2,\dots\}$ に関する基本原理から出発し、既知な事柄(素因数分解とその一意性、ピタゴラスの定理の自然数解全体)や発展的話題(合同式を用いたRSA暗号等)について考察し理解を深める。また、整数全体が環という数学の対象の一つの例であることを紹介し、慣れ親しんだ計算方法について環の定義・性質から考察する。	大内 将也(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年9月6日(日)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(数学)、高校教諭(数学)	10人
206	【選択】説明的文章の教材研究	主に小学校の説明的文章教材を対象として、話題・題材、文種、意味構造などを分析し、指導計画の立案に生かせる教材研究の方法の習得を目指します。意味構造については、文法論的文章論を参考に、連接・連鎖・統括の面から文や段落の意味の重層性、展開の様相を分析し、その結果を図式化する活動を行います。担当講師が用意する小学校教材3つ程度、中学校教材1つ程度について、グループや全体で受講者どうしが協議しながら取り組むことを予定しています。	成田 雅樹(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年9月6日(日)	教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(国語)	20人
207	【選択】確率分布と統計的な推測	高等学校の数学Bにおける「確率分布と統計的な推測」について理解を深めることを目的とする。確率変数の期待値に関する性質、二項分布と正規分布の関係などについて触れ、統計的な推測の考えがなぜ必要なのかみていく。課題研究を進めるうえでも有用な、高校生でもできるデータ分析の方法についても取り上げる。	宇野 力(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年9月12日(土)	教諭	高校教諭(数学)	15人
208	【選択】学校文化と教師	この講習では、現代の日本における学校と教師について、社会学、教育社会学などの議論をもとに、教員の多忙化、学校と塾との連携、専門職としての教師、教育格差などの問題を取り上げて、考えていきます。学校と教師について「当然」と思われていることを、それらを現代社会のなかに位置づけとらえることで、批判的、自省的な視点から見つめ直すことができるようになることを目的とします。	和泉 浩(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	12時間	令和2年9月12日(土)～9月13日(日)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	30人
209	【選択】社会科教育と参加型学習	学習指導要領が改訂されて以降、社会科教育においても、主体的で対話的な学びがますます重視されることになってきた。このような中で参加型学習を行う際にはどのような点を工夫して、児童生徒の学習の深さを保証すべきであろうか。本講習では、社会科で取り組まれている参加型学習に注目し、小中高等学校で用いられている教材を取り上げながら、参加型学習の在り方を学ぶ。その上で参加型学習に必要な「発問」を取り上げ、どのような学習課題が必要になってくるのかを受講生と共に考える。	加納 隆徳(教育文化学部講師)	秋田県秋田市	6時間	令和2年9月13日(日)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(社会)、高校教諭(地理・公民)	20人
210	【選択】レゴ マインドストームEV3を用いたロボットプログラミング入門	レゴ社マインドストームEV3を用いてライトレースロボットの作製を行い初歩的なロボットプログラミングを体験いただきます。各種センサーからの入力を処理し、アクチュエータへの出力によって機体の制御を行うことによって多様な動きを実現でき、順次・分岐・反復といったプログラミングの基礎を組み合わせることで複雑な制御が可能であることを学びます。	小宮山 崇夫(秋田県立大学システム科学技術学部助教) 齋藤 敬(秋田県立大学システム科学技術学部准教授) 高山 正和(秋田県立大学システム科学技術学部准教授) 片岡 康浩(秋田県立大学システム科学技術学部助教)	秋田県由利本荘市	6時間	令和2年9月19日(土)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(数学・理科・技術)、高校教諭(数学・理科・情報・工業)	20人
211	【選択】環境問題のとりえ方	この講習では、環境問題について「環境と社会との関係」から考えていく環境社会学の考え方を説明し、どのように環境問題や、自然と社会との関係、自然を活用した観光としての「グリーンツーリズム」などについてとらえることができるのかを考えていきます。また、環境問題についての考え方は他の社会問題についても応用できるため、この講習をとおして、社会問題についての社会的な考え方も身につけてもらうことを目標とします。	和泉 浩(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年9月26日(土)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭、高校教諭	20人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
212	【選択】特別支援教育－知的障害児の理解と教育の実践－	障害児の理解に向けて、知的障害児を中心に文化史や教育史といった歴史的背景や発達のとらえ方から考えていく。また、知的障害児教育には、指導法としての領域・教科を合わせた指導など、指導内容及び指導方法に関する独自性が存在する。そこで、知的障害児の学習上の特性に応じた対応の基本を中心に、教育課程の在り方も含めて教育現場の指導実践例も紹介しながら学んでいく。	谷村 佳則(教育文化学部准教授)	秋田県横手市	6時間	令和2年9月26日(土)	教諭 養護教諭	全教員	40人
213	【選択】近世城下町の構造－秋田藩の城下町を事例にフィールドワーク－	江戸時代は都市の時代といわれる。諸藩は領国を治め、また藩経済を全国経済に結びつけるため領国の中心に城下町を建設した。それは全国共通のある基本設計のもとに造られた都市計画だった。本講習は、そうした近世城下町の構造を江戸時代の社会構造の観点から解説し、その上で実際に城下町を歩くフィールドワークをおこなう。	渡辺 英夫(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年9月27日(日)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(社会)、高校教諭(地歴)	10人
214	【選択】危機管理と教職員の課題	学校における危機管理に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間の関係、児童・生徒や親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的、制度的、政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について概説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通じて、解決の道を模索する。	佐藤 修司(大学院教育学研究科教授) 鎌田 信(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年10月3日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	15人
215	【選択】秋田県の地震・津波災害と防災・減災教育	2011年に発生した東日本大震災以降、地域に則した防災教育の必要性が高まっている。また、秋田県では過去に多くの地震や津波災害が発生している。本講習では、秋田県の地震、津波の発生メカニズム、特性といった基礎的なことを説明した後、これら災害の歴史と特徴について説明する。そして、防災・減災へ向けて、これらの災害への対策や課題、防災教育のあり方について説明する。	水田 敏彦(地方創生センター教授) 鎌滝 孝信(地方創生センター准教授)	秋田県大館市	6時間	令和2年10月3日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	40人
216	【選択】学校づくりと教職員の課題	主に学校経営に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間の関係、児童・生徒や親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的、制度的、政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について概説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通じて、解決の道を模索する。	佐藤 修司(大学院教育学研究科教授) 鎌田 信(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年10月10日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	15人
217	【選択】特別支援教育－発達障害児の理解と支援－	障害児の教育は「特殊教育」から「特別支援教育」へと大きく転換し、障がいのある幼児児童生徒の教育は、特別な指導の場だけでなく、通常の学級においても必須になっている。したがって学校の教員は、「特別支援教育」に関する一層の実践力及び専門性が求められている。その一助となることを期待し、本講習では、学校における「気になる子」を取り上げ、発達障害等の特性を説明しながら具体的な支援方略について学ぶ。	鈴木 徹(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年10月10日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50人
218	【選択】世界を変えた化学の発明	身の回りの物質を通して化学と人間生活とのかかわりについて理解を深めることが、中高理科における学習目標の一つとなっている。本講習では、現在の我々の生活を支えている化学物質を取り上げ、その発明の経緯と人間生活に与えた影響について学ぶことを目標とする。合成染料、窒素肥料、ガソリン、プラスチックなど、人間の生活様式を大きく変えるに至った物質について議論する。	清野 秀岳(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年10月10日(土)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科)、高校教諭(理科・工業)	30人
219	【選択】近世城下町の構造－秋田藩の城下町を事例にフィールドワーク－	江戸時代は都市の時代といわれる。諸藩は領国を治め、また藩経済を全国経済に結びつけるため領国の中心に城下町を建設した。それは全国共通のある基本設計のもとに造られた都市計画だった。本講習は、そうした近世城下町の構造を江戸時代の社会構造の観点から解説し、その上で実際に城下町を歩くフィールドワークをおこなう。	渡辺 英夫(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年10月10日(土)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(社会)、高校教諭(地歴)	10人
220	【選択】美術教育における題材体験(平面)	美術教育における平面の様々な表現を体験して、児童・生徒の関心・意欲・態度を高め、表現する力を伸ばす指導力を身に付ける。併せて題材などを開発する力を身に付ける。	長瀬 達也(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年10月24日(土)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(美術)、高校教諭(美術)	12人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
221	【選択】色彩デザイン・色彩構成の基礎	「色彩」は、「かたち」や「素材」と並んで、デザイン・造形表現を行う上で最も基礎的な要素として位置づけられます。したがってその運用手法の習得は、美術教育や造形表現活動に携わる上で不可欠といえます。このような観点から本講義では、デザイン・造形表現における基礎的な色彩の扱い方の習得を目的に、 (1)「色彩理論」・「色彩システム」の考え方のポイント (2)それに基づく具体的な「配色方法」 の2点から、実習を交えながら扱っていきます。	石井 宏一(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年11月7日(土)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(美術)、高校教諭(美術)	20人
222	【選択】陸上競技の指導法	陸上競技の指導法について、実技実習を行う。各種の走る、跳ぶ、投げるといった実践を通じて、陸上競技の運動の仕組みを理解し、技能や体力、運動意欲を向上させるうえで効果的な指導法について学習する。陸上競技のトレーニング方法、技術、さらに陸上運動の取り扱いなどについて学習を深める。	松下 翔一(教育文化学部講師)	秋田県秋田市	6時間	令和2年11月7日(土)	教諭 養護教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(保健体育)、高校教諭(保健体育)、養護教諭、部活動で陸上競技の指導にあたる教諭	50人
223	【選択】素粒子物理学入門 -ヒッグス粒子から重力波まで-	現代科学の根幹をなす量子論と相対論、そして物質の基本単位である素粒子について一定の理解は、今や中高の理数教育者にとって必須となっている。本講義の前半では、線形代数などを用いて量子力学における「重ね合わせと不確定性」「量子もつれ」、そして相対論における「光速不変の原理」「時間と距離の相対性」について説明を行う。後半は素粒子の分類と質量生成機構について「ヒッグス粒子」「重力波」などのトピックを織り交ぜながら説明する。	三角 樹弘(大学院理工学研究科講師)	秋田県秋田市	6時間	令和2年11月7日(土)	教諭	中学校教諭(数学・理科)、高校教諭(数学・理科)	30人
224	【選択】近世日本海海運の展開と秋田	近世、江戸時代は米経済の時代であり、年貢米を中央市場に出荷する必要性から河川水運と海運を連結した水運機構が全国規模で整備された。それは、幕府諸藩が運賃契約で廻船を雇用する方式だったが、日本海沿岸にはそれとは違い自己資本で積荷を買い込んで他の湊に廻漕して販売を繰り返すという特徴的な海運が展開した。こうした日本海海運の具体像を検討することにより秋田から全国を見通す視点について考察したい。	渡辺 英夫(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年11月7日(土)	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校教諭(社会)、高校教諭(地歴)	10人
225	【選択】学校づくりと教職員の課題	主に学校経営に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間の関係、児童・生徒や親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的、制度的、政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について概説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通じて、解決の道を模索する。	佐藤 修司(大学院教育学研究科教授) 鎌田 信(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年11月28日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	15人
226	【選択】学校、家庭、地域の連携協力の実践と分析	学校、家庭、地域の連携協力による子どもの教育、学習支援が目指すものは何か、その具体的な取組みはどのように行われているか、その課題は何か、それぞれが配慮すべきことは何か、具体的に実践できることは何か等について事例をもとに考察する。	原 義彦(大学院教育学研究科教授) 佐々木 達也(秋田県教育庁生涯学習課社会教育主事) 古内 一樹(大学院教育学研究科特別教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年11月29日(日)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	30人
227	【選択】教育のなかの新聞とメディア・リテラシー	この講習では、学校の教育に取り入れられるようになっている「新聞」について、メディア論や社会学での研究をもとに、そのメディアとしての特性や教育で取り上げることの問題点、「メディア・リテラシー」の背景にあるメディアの考え方などを受講者とともに考えていきます。このことをとおして、教育のなかでの新聞などのメディアの利用について、各受講者がみずから考えられるようになることを目標とします。	和泉 浩(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年12月5日(土)	教諭	全教諭	30人
228	【選択】危機管理と教職員の課題	学校における危機管理に関わって、教育行政機関との関係、学校内の教職員間の関係、児童・生徒や親・保護者、地域住民との関係について、権利・義務関係など、法的、制度的、政策的な問題点を整理し、今後のあるべき姿、取り組むべき方策などを検討する。政策上、理論上の課題について概説した後、受講者の勤務する学校での事例を取り上げ、受講者全員との議論を通じて、解決の道を模索する。	佐藤 修司(大学院教育学研究科教授) 鎌田 信(大学院教育学研究科教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年12月12日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	15人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
229	【選択】世界のダンスを踊ろう～音楽科と体育科をつなぐ実践	小学校の活動で導入されるフォークダンス実践では、身体の動きとステップ・パターンを覚え、音楽に合わせて踊れるようになることが、目標の一つとして挙げられます。本講習ではダンス学習における音楽理解の大切さに着目しながら、音楽科から体育科へと繋ぐ実践活動を体験していただきます。レパートリーは、シンプルで多様な動きをもつ欧米および中近東のダンス(2拍子系の音楽)を中心に取り上げます。	吉澤 恭子(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年12月26日(土)	教諭	小学校教諭、中学校教諭(音楽・保健体育)	10人
230	【選択】実験で学ぶ生物の遺伝子DNAー自らDNAを抽出するー	遺伝子DNAは、医療現場・個人の遺伝情報管理・食品の産地や遺伝子組換えのチェック・ゲノム編集食品・犯罪捜査と親子鑑定・考古学等への利用、など日常生活・食生活および食育で非常に身近な存在となっていて、その理解を深めることは全校種、全教科で必要かつ重要である。また簡易DNA抽出法を伝授するので教育現場での実践が可能となる。(主な内容:簡易DNA抽出法の体得、精密な抽出と解析技術の体験、日常生活での利用法の理解)	石井 照久(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	18時間	令和2年12月26日(土)～12月28日(月)	教諭 栄養教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科・技術・家庭)、高校教諭(理科・家庭・情報・農業・工業・水産)、栄養教諭	16人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
701	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ（幼・小コース）	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントを解説する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	鎌田 寿和(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育創成センター教職コーディネーター)	秋田県大仙市	6時間	令和2年6月7日(日)	全教員	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	50人
702	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ（中・高コース）	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中・高それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田仲 誠祐(大学院教育学研究科教授) 古内 一樹(大学院教育学研究科特別教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育創成センター教職コーディネーター) 三浦 亨(大学院教育学研究科准教授) 秋元 卓也(大学院教育学研究科特別教授)	秋田県大仙市	6時間	令和2年6月7日(日)	全教員	中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	20人
703	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ（幼・小コース）	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントを解説する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	鎌田 寿和(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育創成センター教職コーディネーター)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月12日(日)	全教員	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	50人
704	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ（中・高コース）	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中・高それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田仲 誠祐(大学院教育学研究科教授) 古内 一樹(大学院教育学研究科特別教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育創成センター教職コーディネーター) 三浦 亨(大学院教育学研究科准教授) 秋元 卓也(大学院教育学研究科特別教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月12日(日)	全教員	中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	40人
705	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ（幼・小コース）	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントを解説する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	鎌田 寿和(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育創成センター教職コーディネーター)	秋田県横手市	6時間	令和2年7月29日(水)	全教員	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	60人
706	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ（中・高コース）	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中・高それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田仲 誠祐(大学院教育学研究科教授) 古内 一樹(大学院教育学研究科特別教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育創成センター教職コーディネーター) 三浦 亨(大学院教育学研究科准教授) 秋元 卓也(大学院教育学研究科特別教授)	秋田県横手市	6時間	令和2年7月29日(水)	全教員	中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	50人
707	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ（幼・小コース）	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントを解説する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	鎌田 寿和(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育創成センター教職コーディネーター)	秋田県大館市	6時間	令和2年8月6日(木)	全教員	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	60人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
708	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中・高それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田仲 誠祐(大学院教育学研究科教授) 古内 一樹(大学院教育学研究科特別教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育教育創成センター教職コーディネーター) 三浦 亨(大学院教育学研究科准教授) 秋元 卓也(大学院教育学研究科特別教授)	秋田県大館市	6時間	令和2年8月6日(木)	全教員	中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	50人
709	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントについて理解する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	鎌田 寿和(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育創成センター教職コーディネーター)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月16日(日)	全教員	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	40人
710	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中・高それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田仲 誠祐(大学院教育学研究科教授) 古内 一樹(大学院教育学研究科特別教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育教育創成センター教職コーディネーター) 三浦 亨(大学院教育学研究科准教授) 秋元 卓也(大学院教育学研究科特別教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月16日(日)	全教員	中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	40人
711	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントを解説する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	鎌田 寿和(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育創成センター教職コーディネーター)	秋田県秋田市	6時間	令和2年9月20日(日)	全教員	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	40人
712	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中・高それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田仲 誠祐(大学院教育学研究科教授) 古内 一樹(大学院教育学研究科特別教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育教育創成センター教職コーディネーター) 三浦 亨(大学院教育学研究科准教授) 秋元 卓也(大学院教育学研究科特別教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年9月20日(日)	全教員	中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	40人
713	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、幼小連携を考慮し双方の要領を踏まえ、今回の改訂のポイントを解説する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、幼・小教諭がそれぞれの立場で現場での状況について意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、相互の理解を深めることができるとともに、連続的な教育の理論と実践が可能となる。	鎌田 寿和(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 林崎 勝(教育文化学部附属教職高度化センター客員教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 奥 瑞生(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育創成センター教職コーディネーター)	秋田県秋田市	6時間	令和2年11月7日(土)	全教員	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	40人
714	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	「学校を巡る近年の状況の変化」では、様々なデータから教育に関わる現状を理解し、これからの教員に求められる資質能力について、中央教育審議会答申等により解説する。また、「学習指導要領の改訂の動向等」については、高大接続改革を中心に今回の改訂のポイントについて理解する。両講習とも講義後、ワークショップ形式により、いじめや不登校の問題、進路指導・キャリア教育の進め方や家庭・地域との連携・協働、カリキュラムマネジメント等からいくつかの課題について、中・高それぞれの立場から意見交換を行い、それらに対し講師が助言・解説をし、理解を深める。	田仲 誠祐(大学院教育学研究科教授) 古内 一樹(大学院教育学研究科特別教授) 廣嶋 徹(大学院教育学研究科特別教授) 工藤 正孝(大学院理工学研究科附属クロスオーバー教育教育創成センター教職コーディネーター) 三浦 亨(大学院教育学研究科准教授) 秋元 卓也(大学院教育学研究科特別教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年11月7日(土)	全教員	中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	40人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
751	【選択必修】教育と男女共同参画社会	この講義では、女子高校生の大学進学率が低い傾向、理系分野で女性が少ない状況、特定の職業に特定の性別が多い状態、子どもの貧困と女性の就労、雇用条件などとの関連など、教育と進路選択、キャリア形成にかかわる問題をとりあげながら、ジェンダーの基本的な考え方とともに、「男女共同参画社会基本法」などで用いられている「ポジティブ・アクション」について説明し、学校教育が男女共同参画社会へ向けた取り組みのなかで、どのような役割をはたしていけるのかを考えていきます。	和泉 浩(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月6日(土)	全教員	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	30人
752	【選択必修】幼児期の「教育」と「保育」	幼稚園教育要領等改訂の背景、特に幼児教育施設の現状や、保育の長時間化・長期間化という近年の状況の変化をとらえ、現代の保育の課題を探る。保育者の保育観や教育観などを調査等によって把握し、幼児期にふさわしい教育のあり方を、「教育」「保育」をキーワードとして考察する。考察では養護と教育の一体化、ケアと教育の関係について考え、幼児教育における計画や評価の独自性を改訂幼稚園教育要領をもとに考察し、実践の省察の在り方を理解することを目指す。	奥山 順子(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月7日(日)	全教員	幼稚園教諭	50人
753	【選択必修】学校カウンセリングの実際的問題について	「児童・生徒との関わりに対して今までとは違った視点を持つこと」をテーマとし、実習や事例検討、グループワークなどを通して、自分自身の児童・生徒の見方についての理解を深めたり、対応に困っている事例に対して、それまでとは異なる関わり方や視点を持つための方法について学んでいきたいと思えます。そのため参加者の方には、これまで学校で関わってきた事例を提供していただく場合があります。	柴田 健(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月13日(土)	全教員	小学校教諭、中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	25人
754	【選択必修】幼児期の「発達」と「教育」	発達理解を基盤とした幼児期にふさわしい教育のあり方を考察する。特に発達過程の質的把握、「結果としての」発達、という観点から実践を省察することを目指す。また遊びの中での子どもの具体的な姿を丁寧に捉えたとともに、子どもを取り巻く状況の変化、幼稚園教育要領等の改訂をふまえながら、幼児期特有の「発達」と「教育」についての理解を深める。	山名 裕子(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年6月21日(日)	全教員	幼稚園	60人
755	【選択必修】学校カウンセリングの実際的問題について	「児童・生徒との関わりに対して今までとは違った視点を持つこと」をテーマとし、実習や事例検討、グループワークなどを通して、自分自身の児童・生徒の見方についての理解を深めたり、対応に困っている事例に対して、それまでとは異なる関わり方や視点を持つための方法について学んでいきたいと思えます。そのため参加者の方には、これまで学校で関わってきた事例を提供していただく場合があります。	柴田 健(教育文化学部教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月18日(土)	全教員	小学校教諭、中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	25人
756	【選択必修】子どもの生活と幼児教育	本講習では、子どもを取り巻く環境の変化や子どもを取り巻く諸問題にふれながら、幼児期にふさわしい生活について考察する。幼稚園教育要領等の改訂の経緯や現代の保育の課題をとらえ、子どもの「生活」をキーワードに、子どもにとっての園生活の意味や家庭や地域における子どもの生活について、子どもの具体的な姿から理解を深める。	瀬尾 知子(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月18日(土)	全教員	幼稚園教諭	40人
757	【選択必修】養護教諭の実践力向上をめざして	今日、学校及び養護教諭が直面している課題を整理して、考察する。また、学校で子どもたちの最後の砦といわれる「保健室」を運営するにあたって、留意しなければならない事項やスキルを講義・演習で習得し、実践力の向上を目指す。	小笹 典子(日本赤十字秋田看護大学教授) 手塚 裕(日本赤十字秋田看護大学准教授) 井上 善行(日本赤十字秋田短期大学教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年7月27日(月)	全教員	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	20人
758	【選択必修】実践に生かす「要領・指針」の理念(「教育・保育制度」)	① 教育・保育を支える法制度の基本を理解する。② 「要領・指針」の改訂の背景と、国が目指す幼児教育の方向性を理解する。③ 「要領・指針」の理念を指導計画を通して実践に生かす方法について考察する。	五十嵐 隆文(聖園学園短期大学教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月5日(水)	全教員	幼稚園教諭	40人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
759	【選択必修】実践に生かす「要領・指針」の理念(「教育・保育制度」)	① 教育・保育を支える法制度の基本を理解する。② 「要領・指針」の改訂の背景と、国が目指す幼児教育の方向性を理解する。③ 「要領・指針」の理念を指導計画を通して実践に生かす方法について考察する。	五十嵐 隆文(聖園学園短期大学教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月7日(金)	全教員	幼稚園教諭	40人
760	【選択必修】キャリア教育と日常の接続～自己理解と協力・学びの必要性の理解	「自己理解」「周囲との関係や役割、協力の必要性の理解」「学校生活と将来・社会との接続」「啓発的体験」等のキャリア教育に関するテーマについて、各種ワークやグループディスカッションも活用して総合的に理解・実践できることを目指す。	渡部 昌平(秋田県立大学総合科学教育研究センター准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月18日(火)	全教員	小学校教諭、中学校教諭、高校教諭	40人
761	【選択必修】道徳教育の方向性と課題	平成27年に学校教育法施行規則が改正され、「道徳」が「特別の教科 道徳」になり、また、学習指導要領も改正された。その背景について国の審議会の状況等をふまえて整理し、道徳教育の現状と課題等について検討する。その上で、「特別の教科 道徳」の授業の学習指導案の作成を通して、「考え」、「議論する」授業展開のあり方について検討する。	小池 孝範(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年8月24日(月)	全教員	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	50人
762	【選択必修】道徳教育の理論と実践	平成27年に学校教育法施行規則が改正され、「道徳」が「特別の教科 道徳」になり、また、学習指導要領も改正された。その背景について国の審議会の状況等をふまえて整理した上で、「特別の教科 道徳」の授業の参観及び検討を通して、「考え」、「議論する」授業展開のあり方について検討する。	小池 孝範(教育文化学部准教授)	秋田県秋田市	6時間	令和2年11月7日(土)	全教員	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭	50人

講習番号	講習名	講習の概要	担当講師	開催地	時間数	開設期間	対象職種	主な受講対象者	受講定員
901	【必修】教育事情の動向	<p>「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について理解を深め、教員として十分な知識技能を有しているか確認し、新たに必要とされる知識技能の獲得を目指す。講義は教育に関わる最新の制度、政策、理論の動向を扱うとともに、教育実践・臨床に関わる具体的な諸問題を取り上げ、受講者参加型の実施形態を目指す。</p>	<p>佐藤 修司(大学院教育学研究科教授) 原 義彦(大学院教育学研究科教授) 小池 孝範(教育文化学部准教授) 細川 和仁(教育文化学部准教授) 鈴木 翔(教育文化学部准教授) 小林 建一(秋田県立大学非常勤講師) 遠藤 秀弘(国際教養大学教職課程准教授) 森 和彦(教育文化学部教授) 中野 良樹(教育文化学部教授) 北島 正人(教育文化学部准教授) 佐藤 さゆ里(横手市不登校適応指導「南かがやき教室」教育相談員)</p>	秋田県大仙市	6時間	令和2年6月6日(土)	全教員	全教員	50人
902	【必修】教育事情の動向			秋田県秋田市	6時間	令和2年7月11日(土)	全教員	全教員	60人
903	【必修】教育事情の動向			秋田県秋田市	6時間	令和2年7月11日(土)	全教員	全教員	60人
904	【必修】教育事情の動向			秋田県横手市	6時間	令和2年7月28日(火)	全教員	全教員	70人
905	【必修】教育事情の動向			秋田県横手市	6時間	令和2年7月28日(火)	全教員	全教員	70人
906	【必修】教育事情の動向			秋田県大館市	6時間	令和2年8月5日(水)	全教員	全教員	60人
907	【必修】教育事情の動向			秋田県大館市	6時間	令和2年8月5日(水)	全教員	全教員	50人
908	【必修】教育事情の動向			秋田県秋田市	6時間	令和2年8月15日(土)	全教員	全教員	60人
909	【必修】教育事情の動向			秋田県秋田市	6時間	令和2年8月15日(土)	全教員	全教員	60人
910	【必修】教育事情の動向			秋田県秋田市	6時間	令和2年9月19日(土)	全教員	全教員	60人
911	【必修】教育事情の動向			秋田県秋田市	6時間	令和2年9月19日(土)	全教員	全教員	60人
912	【必修】教育事情の動向			秋田県秋田市	6時間	令和2年11月8日(日)	全教員	全教員	60人
913	【必修】教育事情の動向			秋田県秋田市	6時間	令和2年11月8日(日)	全教員	全教員	60人

令和2年度 秋田大学教員免許状更新講習 必修講習とまとめて行う選択必修講習一覧(「令和2年度秋田大学教員免許状更新講習一覧表」より抜粋)

講習日	講習番号	領域	講習名	会場	主な受講対象者	定員
6月6日(土)	901	必修	【必修】教育事情の動向	秋田県立農業科学館《大仙市》	全教員	50人
6月7日(日)	701	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	秋田県立農業科学館《大仙市》	幼稚園、小学校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	50人
	702	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	秋田県立農業科学館《大仙市》	中学校、高校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	20人
7月11日(土)	902	必修	【必修】教育事情の動向	秋田大学《秋田市》	全教員	60人
	903	必修	【必修】教育事情の動向	秋田大学《秋田市》	全教員	60人
7月12日(日)	703	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	秋田大学《秋田市》	幼稚園、小学校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	50人
	704	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	秋田大学《秋田市》	中学校、高校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	40人
7月28日(火)	904	必修	【必修】教育事情の動向	横手セントラルホテル《横手市》	全教員	70人
	905	必修	【必修】教育事情の動向	横手プラザホテル《横手市》	全教員	70人
7月29日(水)	705	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	横手セントラルホテル《横手市》	幼稚園、小学校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	60人
	706	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	横手プラザホテル《横手市》	中学校、高校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	50人
8月5日(水)	906	必修	【必修】教育事情の動向	ルネサンスガーデン・プラザ杉の子《大館市》	全教員	70人
	907	必修	【必修】教育事情の動向	ホテルクラウンパレス秋北《大館市》	全教員	70人
8月6日(木)	707	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	ルネサンスガーデン・プラザ杉の子《大館市》	幼稚園、小学校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	60人
	708	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	ホテルクラウンパレス秋北《大館市》	中学校、高校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	50人
8月15日(土)	908	必修	【必修】教育事情の動向	秋田大学《秋田市》	全教員	60人
	909	必修	【必修】教育事情の動向	秋田大学《秋田市》	全教員	60人
8月16日(日)	709	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	秋田大学《秋田市》	幼稚園、小学校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	40人
	710	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	秋田大学《秋田市》	中学校、高校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	40人
9月19日(土)	910	必修	【必修】教育事情の動向	秋田大学《秋田市》	全教員	60人
	911	必修	【必修】教育事情の動向	秋田大学《秋田市》	全教員	60人
9月20日(日)	711	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	秋田大学《秋田市》	幼稚園、小学校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	40人
	712	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	秋田大学《秋田市》	中学校、高校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	40人
11月7日(土)	713	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅰ(幼・小コース)	秋田大学《秋田市》	幼稚園、小学校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	40人
	714	選択必修	【選択必修】学校現場に即した理論と実践Ⅱ(中・高コース)	秋田大学《秋田市》	中学校、高校、特別支援、養護教諭、栄養教諭	40人
11月8日(日)	912	必修	【必修】教育事情の動向	秋田大学《秋田市》	全教員	60人
	913	必修	【必修】教育事情の動向	秋田大学《秋田市》	全教員	60人

※上記一覧は必修講習と連続した日程で実施する選択必修講習の一部を抜粋したものです。
そのほかの日程で実施する選択必修講習を含むすべての講習一覧は、本学教員免許状更新講習HPに掲載しております。